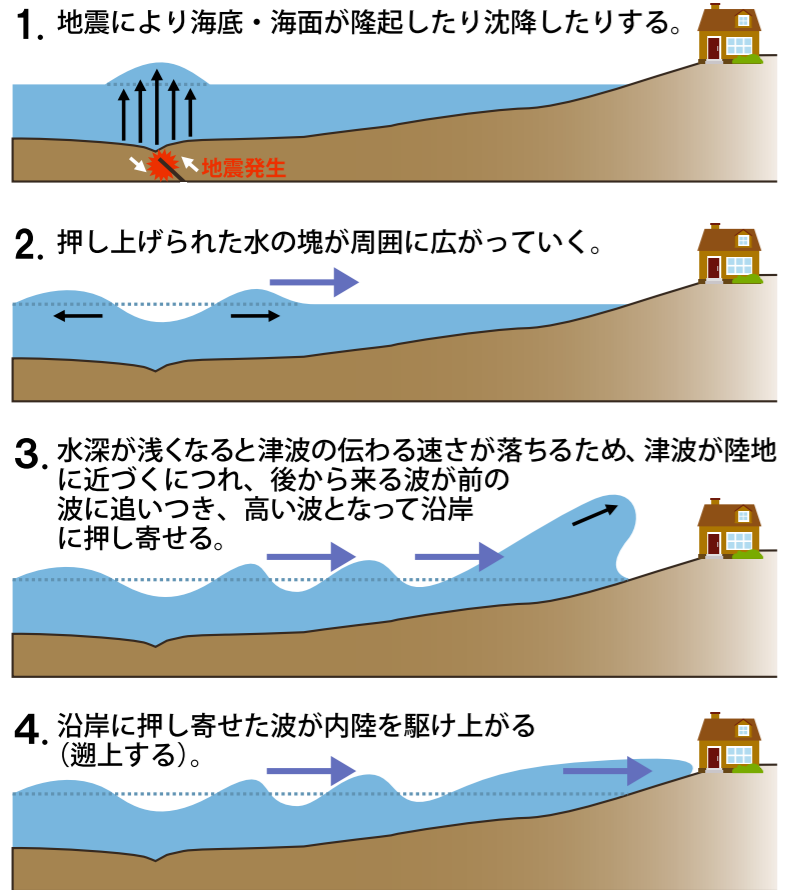


津波発生のしくみ

津波は、海底で発生する地震によって海底の地形が急に変わり、海水が大きく押し上げられたり沈み込んだりするために起こります。発生した海面の動き(上下動)が大規模なものであれば、水面が広範囲に盛り上がり、巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せます。



津波の特徴を覚えておこう

津波は繰り返り襲ってくる!!

津波は繰り返り襲ってきます。到達する津波の高さは、第1波でなく、第2波以降の波が最大となる場合があります。津波警報や避難指示(緊急)等が解除され安全が確認されるまで、避難を続けましょう。

津波のスピードは速い!!

津波のスピードは速く、沖合ではジェット機に匹敵する速さです。陸に近づくとき速度は遅くなりますが、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合いません。

水深が浅くなると波は高くなる!!

水深が浅くなると、津波の高さは急に高くなります。また、海底地形の浅い方向へ曲がる性質が、津波の高さに地域差を生じさせる原因にもなります。

5分間で避難可能な距離

- 津波は地震発生から数分で到達するおそれがあります。
- どこまで避難できるか確認しましょう。



出典:「津波避難を想定した避難路、避難施設の配置及び避難誘導について(第3版)平成25年4月、国土交通省都市局街路交通施設課」より(P.101)
 ※「一般成人が1人で避難した場合」の避難速度は平均2.49km/h、「乳幼児や高齢者など歩行速度の遅い同行者と避難した場合」の避難速度は1.66km/h

浸水深の目安と市民の皆さんの命を守る行動

浸水深	市民の皆さんの命を守る行動
浸水深: 2.0~5.0m 2階軒先までつかります。木造家屋が全面的に破壊されます。	すぐに避難対象地域外の高台や鉄筋コンクリート建物の4階以上へ避難してください。
浸水深: 1.0~2.0m 1階軒先までつかります。木造家屋が部分的に破壊され始めます。	すぐに避難対象地域外の高台や鉄筋コンクリート建物の3階以上へ避難してください。
浸水深: 0.5~1.0m 大人の腰までつかります。乗用車が水に浮き流され始めます。	すぐに避難対象地域外の高台や鉄筋コンクリート建物の2階以上へ避難してください。
浸水深: 0.2~0.5m 大人の膝までつかります。水深が浅くても、流速が速い場合は歩行困難になります。	

津波と高潮の違い

津波

発生要因
 ・海底で起きる地形変動により発生
 波長(波の周期)
 ・数kmから数百km程度

特徴
 ・海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せるため、破壊力が凄ましい。

巨大な水の壁となって長時間力が加わる。陸上のもを破壊しながら、内陸まで一気に浸水する。

波長: 長い(数km~数百km)

津波の高さ

高潮

発生要因
 ・台風や発達した低気圧により発生
 波長(波の周期)
 ・数mから数百m程度

特徴
 ・海面の表面だけが動く。
 ・海面が徐々に高くなる。

津波と高さが同じでも、波浪は波長が短いので、一つ一つの波により加わる力は小さく沿岸で砕け散る。

波長: 短い(数m~数百m)

波の高さ

高波

津波浸水時、地下にはいろいろな危険があります。あらかじめ地上への避難経路を確認しておきましょう。

地下

- 地下室では外の様子が判りません
- 浸水すると電灯が消えます
- エレベーターは使えません
- 地上が浸水すると、一気に水が流れ込んできます
- 水圧でドアが開きません